

令和2年度 学校関係者評価

学校関係者評価の実施

1 日時	2月9日(火)～2月15日(月) ※新型コロナウイルス感染防止対策で書面にて評価
2 評価者	学校運営協議会委員 5名
3 審議内容	本年度の学校評価の妥当性について

【学校関係者による審議の結果】

- ◎ 教育実践の実態把握、結果分析に基づいた学校評価の方法は適切である。
- ◎ 教師の指導力向上が児童の学力向上に繋がっていると考える。
- ◎ 児童の安全な登校、新型コロナウイルス感染防止対策において地域・家庭・学校が連携した子育てがすすんでいる。さらに意識を高め、よい教育効果を挙げていく必要がある。
- ◎ 学校評価の結果は妥当である。

基本目標 たくましく豊かな心を持つ青少年の育成

※評価の規準

- 4 十分達成できている
- 3 概ね達成できている
- 2 どちらかというとは達成できていない
- 1 ほとんど達成できていない

目標	取組の内容	評価	学校関係者評価
心の豊かさ と自ら学ぶ力を 育てる学校教育の 実現	1 豊かな心の育成 ①いじめ、不登校への適切な対応 ②あいさつと言葉遣い	3	□ 評価は妥当である→3名 4が妥当である→2名 【御意見】 ○いじめ防止基本方針により適切にその取組が実施され、結果として評価できる。 ○「毎日楽しく学校に通う」ということがなにより重要であり大切。引き続き、個別の事案にきめ細かな対応をお願いしたい。 ○登校時、子供たちは地域見守りボランティアによく挨拶をする。地域でもよく挨拶をするようになった。 △挨拶については、第一に家庭で教えるものなので、それがすべて学校の評価に結びつくとは思わない。 ▲あいさつについては、保護者3.1、子供は3.4と評価に差がある。相手意識をさらに高めて、もっと元気よく相手に届くあいさつができるように指導してほしい。 ▲地域でのあいさつをもっと積極的にできるようにしたい。
	2 基礎学力の充実 ①確かな学力の育成 ②教職員研修の充実	3	□ 評価は妥当である→2名 4が妥当である→3名 【御意見】 ○一生に一度あるかないかのパンデミックの中、感染防止に本当によく取り組んでいると思う。 ○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、授業時数が減少しているが、学力向上に向けてよく取り組まれている。先生方の工夫、御尽力のおかげである。 ○長与スタンダードを実践して、よい教室環境が整っている。
	3 健康安全教育の推進 ①安心安全な学校生活 ②体力づくり	3	□ 評価は妥当である→2名 4が妥当である→3名 【御意見】 ○一生に一度あるかないかのパンデミックの中、感染防止に本当によく取り組んでいると思う。 ○校内から感染者が1名も出なかったのは、先生方の日々の児童への指導や、校内の清掃、消毒のおかげであるともいえる。 ○マスクの着用が徹底されている。家庭と学校のよい連携の現れである。 ▲朝のランニングや縄跳び等を計画し、体力作りに努めてほしい。

<p>4 特別支援教育の充実 ①一人一人のニーズに応じた支援</p> <p>②教育相談の充実</p>	3	<p>□ 評価は妥当である→3名 4が妥当である→2名 【御意見】 ○今後も確実な取組を行い、児童一人一人が楽しく、安心して登校できる学校を実現してほしい。</p>
<p>5 国際化への対応 ①外国語活動の充実</p>	3	<p>□ 評価は妥当である→2名 4が妥当である→3名 【御意見】 ○限られたALTの人員配置ではあるが、効果的に活用した教育ができていていると考える。</p>
<p>6 教育環境の整備 ①整った教育環境</p> <p>②保護者・地域との連携</p>	3	<p>□ 評価は妥当である→3名 4が妥当である→2名 【御意見】 ○学習環境が整っている。 ○子供のよりよい教育のために、PTA、コミュニティー団体との連携はますます重要となる。子供のためにしっかり取り組んでいかななくてはならない。 ○地域ボランティアの皆さんや先生方の見守りのおかげで、登下校中の交通事故も0件であり、安心して子供を家から送り出せる環境にある。</p>
<p>7 教職員の資質向上 ①指導力の向上</p> <p>②児童に寄り添う教師</p>	3	<p>□ 評価は妥当である→3名 4が妥当である→2名 【御意見】 ○校内研修を中心としたよい指導が、子供たちの学力向上につながっていると考える。</p>